

## 活動報告

団体名	ピースボート災害支援センター
活動名	球磨村避難者のための避難生活環境改善活動
活動期間	2020年8月1日～2020年11月30日
活動の成果	<p>8月16日から約4か月間、球磨村の住民が避難していた村外避難所の一つで、ピークには229名の方が避難した「旧多良木高校避難所」の運営支援を行いました。コロナ禍における避難所運営として、1日3時間以上かけてアルコール消毒など感染症対策を徹底して実施しました。避難住民と情報共有や意見交換の場を定期的に設けたことで、感染症や災害関連死への理解もマシ、日常の清掃等を共に行ってくださる方々が増えていきました。また、避難生活中は食生活や運動による健康維持がとても重要になります。そこで共同運営していた団体の特性を活かして、体操教室を週3回継続的に実施しました。住民の皆さんの運動不測の解消だけでなく、生活不活発病の予防やストレスケアにもつながり、住民の活力や笑顔が少しずつ戻っていきました。</p> <p>被災地支援では、被災者だけでなく支援者の心身の健康状態にも目を向け、ケアの体制を作ることも大切です。私たちの運営する避難所では、臨床心理士に個別面談を実施したり、被災者又は支援者同士の声掛けの方法などをレクチャーしていただきました。状態を共有することで、お互いへの思いやりや気配りの視点も多様になり、一層声を掛け合う場面や機械が広がっていきました。なお、全ての活動を実施するにあたり、様々な機関や団体と連携協働することで課題解決を実現することが出来ました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>新型コロナウイルス感染症の対策を行いながらの避難所支援は、当団体にとっても初めての事でしたが、ご支援をいただいた皆様や避難所の方々のご協力もあって、無事に閉所を迎えることが出来ました。しかし、避難所の終わりが支援の終わりではありません。2021年2月現在、人吉市災害VCの運営のためにスタッフを派遣し、被災された皆様の住まいの再建サポートとしてボランティアコーディネートを行っています。発災から半年以上が経過し、家屋のリフォームや各避難所の閉所など、復興への兆しも見えつつありますが、様々な事情から思うように家屋清掃が進められないなどの相談も日々寄せられています。現在困難に直面している皆さんや、今後の地域の再生なども見据えて、社会福祉協議会をはじめ様々な支援者とも協力しながら支援活動を実施していきます。被災地の皆さんが元の暮らしを取り戻していくには、災害に加え、新型コロナの影響により未だ多くの課題が山積し、復興への道のりは長期にわたります。これからもどうか、被災地に想いをよせ、応援し続けていただけましたら幸いです。ご支援ご協力ありがとうございました。心から感謝申し上げます。</p>